

The 16th Osaka European Film Festival

第16回大阪ヨーロッパ映画祭

ヨーロッパ最新映画初上映 ラインナップ決定

11月19日（木）～23日（月・祝）（ABCホール）

未公開のヨーロッパ最新作の中でも「芸術性、社会性に優れた深みある作品」を中心に、確かな選択眼で厳選された数々の作品を初上映として紹介してきた大阪ヨーロッパ映画祭。応募作品を中心に300本を越える作品の中から実行委員長パトリス・ボワトーが本年度選んだ秀作10本の上映が決定しました！新たにメイン会場となったABCホールを舞台に、今年はオープニング&クロージングのセレモニーや抽選会も予定、さらに「ヨーロッパ最新映画初上映」（11月20日～23日）のプログラムに先立ち「映画都市・大阪とハンブルク」（19日）、そして「フランダースの名優 ヤン・デクレール」（20日）の2つの特別プログラムも開催します。ますます充実のプログラムをご堪能下さい。



■11月20（金）～11月23日（月）《ABCホール》「ヨーロッパ最新映画初上映」

＜本年度のみどころ＞

10作品中9本が日本初上映となった今年のラインナップは、全作品の総製作国数がなんと25カ国、また全プログラムでは50カ国以上を数え、まさに日本を代表する国際的な文化の祭典と呼ぶにふさわしい内容となりました。まずセレクションにおいて最も注意を払ったことは、限られた作品の中で、いかにヨーロッパの映画人がいま興味を持っているテーマの幅広さを紹介できるか、また私たち日本の社会にもみられるテーマを、いかに数多く取りあげられるかということです。父子の関係、差別、お金、貧困、違うものへの恐怖、変化する社会、売春、権力、環境保護、家族、愛、多文化の共存など、それぞれの作品の中で、ユーモア、ファンタジー、シリアスとともに数々のテーマが取り上げられています。

今回、映画祭では初めてギリシアとルーマニア作品が登場します。ギリシア映画『アテネの恋人たち』においては、最も挑発的で将来が楽しみな映画人を、またルーマニアのベテラン映画監督による『両替から始まる物語』では、ブラック・ユーモアと風刺という今のルーマニア映画にみられる二つの傾向の表現に卓越した映画人を発見していただけることでしょう。

また、これまでに映画祭に来阪した映画人たちの最新作3本も登場。第11回で来日した『ヒットマン（アルツハイマー・ケース）』の名優ヤン・デクレールと監督エリック・ヴァン・ロイが再びタッグを組んだ最新作『ロフト。』がオープニングを飾る他、第4回に 来日したカタルーニャ映画界の重鎮ベントゥーラ・ポンス監督の『隣人』、さらに第13回の『僕がいない場所（アイ・アム）』の監督ドロタ・ケンジェルザヴスカと撮影監督アルツール・ラインハルトの最新作『美しく生きて～アニエラと犬～』を上映。この作品はポーランドのベテラン女優と、オスカーを受賞してもおかしくない一匹の犬の物語です。また、女流監督による作品が2つ。『君の涙 ドナウに流れハンガリー1956』のクリスティナ・ゴダ監督の最新作『カメレオン』（ハンガリー）と、ベルリン国際映画祭で人間味あふれる作品が大喝采をうけたアネット・K・オルセンの『リトル・ソルジャー』（デンマーク）です。また男の子の父親に対する限りない愛情を描くガブリエル・サルヴァトレス監督の最新作『絆』、ハリウッド映画へのイメージが、スイス料理とインド料理の素晴らしいハーモニーで描かれたロマンティック・コメディ『タンドリー・ラブ』など、多様性に富んだこれら10作品を通し、ヨーロッパ映画の今を発見するとともに、私たちの社会についても一度考え、また議論していただける場となると信じています。

★オープニングセレモニー&上映 11月20日（金）★

18:00～セレモニー

ヨーロッパ最新映画初上映のスタートにあたり、名優ヤン・デクレール他多数の来日ゲストが一同に登壇！

18:20～オープニング作品上映【日本初上映】

『ロフト.』

★ベルギーの映画館入場者記録を樹立したヒット作★

原題：LOFT/2008年/ベルギー/118分/

配給：角川映画/監督：エリック・ヴァン・ローイ

妻子ある5人の男友達がシェアする秘密の隠れ家・ロフト。そこで発見された1人の女の死体をめぐり、互いを疑うようになった男たちは……。スタイリッシュな映像と、華やかな社交界のシーンをふんだんに取り入れながら、社会的に成功を収めた男たちの愛と欲望を暴きだす、都会派ラブサスペンス。



■フランダースの名優ヤン・デクレール最新作！

■2009年ヨーロッパ映画賞ノミネート（全48作品の一つ）

■11月21日（土）より東京にて公開

★クロージング上映& 豪華賞品があたる抽選会！ 11月23日（日）★

～エールフランス航空 大阪就航40周年特別上映～

18:00～クロージング作品上映【関西初上映】

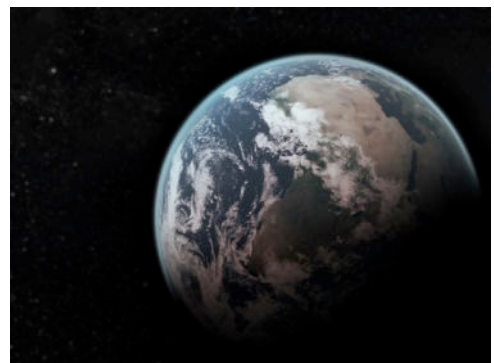
『HOME 空から見た地球』

★まだ知らない“故郷”地球に出会える★

原題：HOME/2009年/フランス/94分/

日本語吹替/配給：アスミック・エース

生命を支えている壊れやすく繊細なハーモニーが今壊れようとしている。すぐに行動を起こさなければ地球の未来は救えない。地球を作り変えた人間が出来ることは……。空からの迫力ある映像と、地球の言葉を代弁するかのような音楽によって地球の痛みを体感する必見の地球ドキュメンタリー。撮影国は全部で54ヶ国、撮影日数217日、撮影フィルム488時間にも及ぶ壮大なスケールでうみだされた作品が、圧倒的な映像でかつて経験したことのない空の旅へいざなう！（作品公式ホームページ：<http://home.asmik-ace.co.jp/>）



■世界的な航空写真家ヤン・アルテュス＝ベルトラン初監督

■『グラン・ブルー』のリュック・ベッソンらプロデュース

19:45～20:15 クロージング抽選会！！

11月19日から23日までABCホールで開催される上映会を觀賞しアンケートにお答え頂いたお客様の中から抽選でエールフランス航空の大阪/パリ往復航空券などスポンサー企業提供の豪華賞品があたる抽選会です！

11月21日（土） 11:00～【日本初上映】

『カメレオン』（仮題）

原題：Kameleon/2008年/ハンガリー/106分

監督/脚本：クリスティナ・ゴダ

★天才イケメン詐欺師が魅せる華麗な技と皮肉な運命★

孤児院で育ったガーボルとティビは、ブタベストを舞台に結婚詐欺を重ねる詐欺コンビ。次の詐欺のターゲットを探していたガーボルは、足を怪我してパレリーナ人生の危機に立つハンナを見つけて……。軽快な音楽に乗って披露する華麗なる詐欺ぶり、恋をしたばかりに歯車が狂ってしまった皮肉な運命の対比が印象的なエンターテインメント作品。



■『君の涙 ドナウに流れハンガリー1956』のクリスティナ・ゴダ監督最新作

11月21日（土） 14:30 ～ 【日本初上映】

『絆』（仮題）

（原題：Come Dio comanda／2008年／イタリア／103分）

監督：ガブリエーレ・サルヴァトレス

★『ぼくは怖くない』のG.サルヴァトレス監督最新作★

イタリア北部の町、外国人労働者に仕事を奪われ、アルコール依存症でネオナチスのリーノは息子と二人で暮らしていたが、ある夜精神的な障害を抱える友人の起こした事件に巻き込まれてしまう。現代社会が抱える様々な問題に深く切り込み父子の真の絆を問う話題作。シリアスな内容ながら、抑えたトーンの抒情的な映像が見る者を惹きつける。

- モスクワ国際映画祭 Russian Film Critics Award 受賞作品
- 『ぼくは怖くない』（2003）のニコロ・アンマニーティ原作



11月21日（土） 18:00 ～ 【日本初上映】

『タンドリー・ラブ〜コックの恋〜』（仮題）

（原題：Tandoori Love / 2008年 / スイス / 92分）

監督／脚本：オリヴァー・ポーラス

★アルプスも踊る！スイス・ミーツ・ポリウッド★

インドからポリウッド映画撮影班専属コックでスイスアルプスを訪れていたラジャはスーパーで出会ったソーニャに一目惚れ。だが、ソーニャには婚約者がいて・・・スイスアルプスで繰り広げられるポリウッドの歌と踊り、画面いっぱいに広がる美味しい料理映像の数々に五感で楽しめること間違いなしの、エンターテインメントラブストーリー。

- 2008年カイロ国際映画祭 最優秀芸術賞受賞
- 『モンスーン・ウェディング』（2001）のヴィジェー・ラーズ主演
- 「スラムドッグ・ミリオネア」の原作者ヴィカス・スワラップがゲストとして登場



11月22日（日） 11:00 ～ 【日本初上映】

『リトル・ソルジャー』（仮題）

（原題：Lille Soldat / 2008年 / デンマーク / 100分）

監督／脚本：アネット・K・オルセン

★2009年ベルリン国際映画祭エキュメニカル賞受賞作★

軍隊から脱隊し祖国に戻って孤独な日々を過ごすロッチは、父が経営している売春組織の女リリーのボディガード兼運転手を引き受ける。国に残してきた娘に仕送りするため売春を続けているリリーの姿に心動かされるロッチだったが・・・傷つきながらも守るべきもののために闘う女たちの強さと優しさと悲しみをスティックに描く女性版『ボディガード』。

- 2009年ベルリン国際映画祭 金熊賞ノミネート



11月22日（日） 14:30 ～ 【日本初上映】

『アテネの恋人たち』（仮題）

（原題：Strella / 2009年 / ギリシア / 113分）

監督：パノス・H・コートラス

★究極の愛の形を描く感動作★

殺人罪で服役していたヨルゴスは、出所後消息不明の息子を捜していた。滞るホテルで美しい女性ステラに出会い、相手が男であることを知りながらも惹かれ合い関係を持ったのだったが・・・アテネを舞台に、人を純粋に愛することは何かを問いかける唯一無比のラブストーリー。

- 大阪ヨーロッパ映画祭史上・初のギリシア映画
- 『アタック・オブ・ザ・ジャイアント・ケーキ』（1999）のパノス・H・コートラス監督最新作



11月22日(日) 18:00～【日本初上映】

『両替からはじまる物語』(仮題)

(原題: Schimb valutar / 2008年 / ルーマニア / 98分)

監督: ニコラエ・マルジネアヌ

★旧東欧の社会問題を軽快に描く逆シンデレラストory★

工場閉鎖に伴い解雇されたエミル。オーストラリア移住を夢見て家の全財産を持って両替にかけたが、まんまと騙し取られてしまう。若くてチャーミングな女性アナに出会い、居候しながら犯人を探しを始めたエミルは・・・ブカレストの路上を舞台に、全財産を騙し取られた男が繰り広げる愛とドタバタの日々を描く東欧発の社会派ドラマ。



■大阪ヨーロッパ映画祭史上・初のルーマニア映画

11月23日(月・祝) 11:00～【日本初上映】

『美しく生きて～アニエラと犬～』

(原題: Pora umierac / 2007年 / ポーランド / 104分 /

配給: パイオニア映画)

★91歳の名女優が魅せる人生最期の瞬間★

監督/脚本: ドロタ・ケンジェルザヴスカ

撮影: アルツール・ラインハルト

愛犬フィラデルフィアと暮らしているアニエラの古屋敷に、隣人の使いの男がやってきた。立ち退きを求められ、猛然と追い返したアニエラは息子を呼びよせるのだったが・・・愛犬との絶妙な掛け合いが微笑ましい、人生の最期の瞬間まで前向きに生き、変わっていく姿が、静かな感動を呼ぶヒューマンストーリー。



■第13回出品作『僕がいない場所(アイ・アム)』製作チーム最新作

11月23日(月・祝) 14:30～【日本初上映】

『隣人』(仮題)

(原題: Forasters / 2009年 / スペイン / 105分)

監督/脚本: ベントゥーラ・ポンス

★親子3代の愛と苦悩の日々を描く人生讃歌★

40年あまり前、バルセロナのアパートに住んでいたエマは、癌のため余命わずか。反抗ばかりする娘のアナや、上の階に引っ越ししてきたジブシー一家に忌々しい思いをしていたエマだったが、2世紀に渡って同じ家に住む家族に大きな影響を与えたのは、異国からきた隣人たち。親子3代にわたる家族の尊さや家族が故の葛藤を2つの時代を重ねて描き出す。



■第4回で来日・カタルーニャ映画界の重鎮ベントゥーラ・ポンス最新作



来日ゲストディスカッション&サイン会

「映画を作る側と観る側の間に対話を」という思いで始まったこの企画は当映画祭の大きな目玉。観客の皆様と世界の名だたる映画人が直接交流できる貴重な機会となっています。来日ゲストは近日発表！

■11月19日（木）《ABCホール》

「映画都市・大阪とハンブルク <特別編>」

大阪ハンブルク友好都市提携20周年を記念し、ハンブルクと大阪を舞台に活躍する映画人による作品をそれぞれ上映。また「新世代クリエイターとの出会い」として、本年度ロカルノ国際映画祭に『ニコトコ島』を出品した大阪府出身の大力拓哉、三浦崇志の2人組監督とハンブルクから来日する映画人（後日発表）に、映画都市としての両都市の今についてそれぞれ意見を交わして頂きます。

★上映作品『ニコトコ島』+『ハンブルク短編集』、『ブッデン بروーク家の人々』ほか

※「映画都市・大阪とハンブルク」は11月5日～18日までプラネット・プラスワン・スタジオでも開催します。



■11月20日（木）《ABCホール》

「フランダースの名優 ヤン・デクレール」

第11回の名誉委員長として来阪、ベルギー・フランダースが生んだ名優ヤン・デクレールが再び来日！話題の大ヒット最新作『ロフト』を含め、同氏が出演する3作品を特集上映いたします。ヨーロッパ映画界の重鎮の素晴らしい演技が光る名作をたっぷりご堪能いただけるプログラムです。

★上映作品『神父ダース』、『ザ・ヒットマン（アルツハイマー・ケース）』、（※『ロフト、』）



＜チケット情報：ABCホール5日間・共通＞

【前売】 指定席・1回券=1,500円 自由席・3回券=3,000円（※3回券は複数人数での使用不可）

【当日】 自由席・1回券=1,500円（学生/シニア…1,200円）、自由席・3回券=3,500

★★★チケットぴあ、ローソンにて9/26（土）より一般発売開始★★★

＊＊以下、随時メールによるショートリリースで最新情報をお知らせいたします。＊＊
画像の提供、実行委員長P.ボトローやCMフェスティバルプロデューサーJ.C.ブーヴィエの取材なども受け付けております。ご希望の方はお問い合わせください。

★第16回名誉委員長&来日ゲスト&公式ポスター発表！！

「ヨーロッパ最新映画初上映」を中心としたプログラムの製作に携わった映画人がゲストとしてやってきます！上映後のディスカッションとサイン会は映画祭の目玉の一つ。今年のゲストはいかに？

★「世界のCMフェスティバル2009 in 大阪」の見どころ

大人気のイベントの今年のラインナップの一部とみどころを紹介します！

★「映画都市・大阪とハンブルク」の作品紹介

当映画祭では久々となる日本映画が登場。ロカルノ国際映画祭に出品、また秋にはヒホン国際映画祭での出品も決定した『ニコトコ島』。大阪出身の二人組監督の魅力とプログラムの詳細をご紹介します。

★回顧上映「オランダ映画特集」

★「スラムドッグ・ミリオネア」の原作者ヴィカス・スワラップがゲストとして登場！『タンドリー・ラブ コックの恋』のディスカッションに注目

★写真展「クリス・デウィット」と「モーリス・ジャール in 大阪」

★「大阪ヨーロッパ映画祭 in 東京」詳細！11月27日（金）-29日（日）《シネマアンジェリカ》

などなど。。

＜お問い合わせ＞ 大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会事務局 広報：本多/音居

TEL：06-6882-6213 Mail：press@oeff